MITSUBISHI

9503R588HK0601

消音形斜流ダクトファン

20cm·25cm·30cm·35cm 40cm·50cm(JFUタイプ・JGUタイプ)

取付・取扱説明書

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。
■この製品には単相製品と三相製品があります。電源を確認して取付工事を行ってください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

お読みになった後は、お客さまがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

	ページ		ページ
1.安全のために必ず守ること	1～2	4.使用方法	6
2.外形寸法図	3	5.アフターサービス	6
3.取付方法	3～5	6.仕様	7

- 取付けやご使用の前に、「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、正しく安全に取付けてください。また正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

※表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

⚠警告	誤った取扱をしたとき、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱をしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

⃠	禁　止		水場での使用禁止	❗	指示に従い必ず行う
	分解禁止		接触禁止		アース線接続

1.安全のために必ず守ること

斜流ダクトファンを正しく安全に取付けていただくため、また正しくご使用いただくために次のことを必ずお守りください。

⚠警告	
⃠	●電源が入ったままになっていると自動的に復帰し、急に回転しますので点検、修理のときは必ず電源を切ってください。 (突然運転し始めてけがをする恐れがあります)
	●運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れないでください。 (けがの恐れがあります)
	●電源が入ったままで運転が停止しているときは、製品には絶対にふれないでください。 (感電の恐れがあります)
	●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。(火災・感電・けがの原因となります) 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
	●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 (ショート・感電の恐れがあります)
❗	●煙突で排気する燃焼器具を設置した室内では、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な吸気口を設置してください。 (一酸化炭素中毒を起こすことがあります)
	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。 (漏電した場合発火することがあります)
	●爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取付けないでください。 (爆発や火災の原因になります)
	●お手入れや修理を依頼される際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。また、ぬれた手でスイッチ操作はしないでください。 (感電やけがをすることがあります)
⏚	●アースを確実に取付けてください。 (故障や漏電のときに感電することがあります)

⚠注意

- ●定格電圧・定格周波数以外では、使用しないでください。
  （火災・感電の原因となります）
- ●直接炎があたる恐れのある場所には取付けないでください。
  （火災の恐れがあります）
- ●屋外など雨のあたる場所には取付けないでください。また浴室など湿気の多い場所（湿度90%以上）の排気には使用しないでください。
  （感電や火災の原因となります）
- ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
  （落下によりけがをする恐れがあります）
- ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
  （誤った配線は感電や火災の恐れがあります）
- ●長時間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
  （絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります）

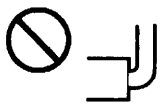
お 願 い

- ●取付場所が悪いと故障の原因になります。つぎのような場所には取付けないでください。
  - ・40℃以上になる場所　・−10℃以下の冷凍室など氷結する恐れのある場所
  - ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所　・ほこりや油煙の多い場所
- ●製品は水平に取付けてください。
- ●この製品を取付けた天井には、必ずダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。
- ●本体とダクトを接続するときは、本体にダクトの重さがかからないようにジャバラ（不燃性）などの伸縮可能なダクトを用いて接続してください。
- ●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけ、先端にウエザーカバー（市販品）などを取付けることをおすすめします。
- ●つぎのようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります。）

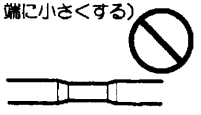
●極端な曲げ

●多数の曲げ（曲げ数が多くなれば風量低下します）

●吐出口のすぐそばでの曲げ



●しぼり（接続ダクト径を極端に小さくする）

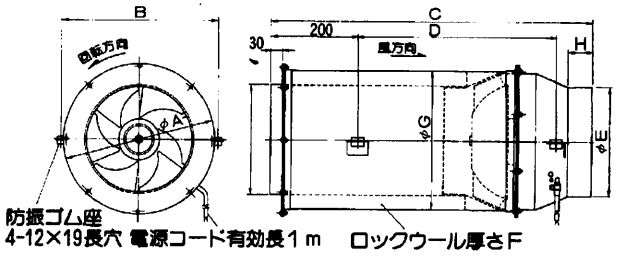


規　　制

- ●ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- ●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けてください。（各地区で使用の可否を確認してください。）

2. 外形寸法図

※JFU-20ASDの回転方向は時計式です。



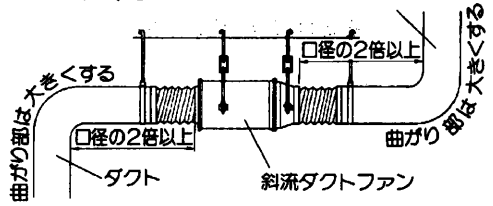
変化寸法表　　単位(mm)

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	※電源コード
JFU-20ASD	300	309	790	505	200	30	269	50	Ⓐ
JFU-25BSD	360	365	860	575	250	40	326	51	Ⓐ
JFU-25BTD									Ⓑ
JFU-30BSD	430	427	910	625	300	50	387	55	Ⓐ
JFU-30BTD									Ⓑ
JFU-30CSD									Ⓐ
JFU-30CTD									Ⓑ
JFU-35DSD	515	511	979	694	324	75	471.5	49	Ⓐ
JFU-35DTD									Ⓑ
JFU-35ESD									Ⓒ
JFU-35ETD									Ⓑ
JGU-40DSD	555	552.5	1010	725	400	60	512	62	Ⓐ
JGU-40DTD									Ⓑ
JFU-40FSD-50									Ⓒ
JFU-40FTD									Ⓓ
JGU-50FSD	685	682	1110	825	495	75	642	57	Ⓒ
JGU-50FTD									Ⓓ
JFU-50GTD									Ⓓ

※Ⓐビニールキャブタイヤケーブル　2芯×0.75㎟
Ⓑ特殊耐熱ビニールキャブタイヤケーブル　3芯×0.75㎟
Ⓒビニールキャブタイヤケーブル　2芯×1.25㎟
Ⓓ特殊耐熱ビニールキャブタイヤケーブル　3芯×1.25㎟

3. 取付方法

■取付例



エルボダクト使用の場合

- ●ダクト曲がり部までの寸法は口径の2倍以上の寸法にしてください。
  （空間が十分でないと、風の流れに片寄りが生じて性能が著しく損なわれます。）

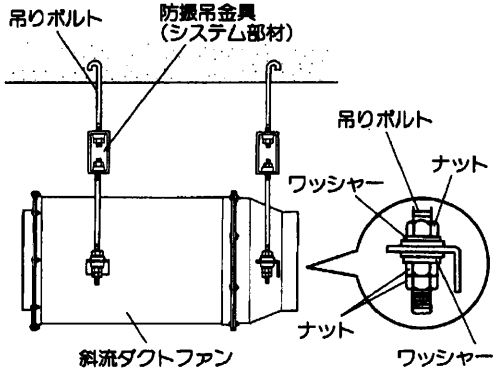
■本体の取付け

1. 吊りボルトを埋込みます。

- ●外形寸法図を参照し、本体取付用吊りボルトを天井などの取付位置に埋込んでください。

機　種	ボルト・ナット・ワッシャー
20・25・30・35タイプ	M8
40・50タイプ	M10

3. 取付方法 つづき



2. 本体を吊りボルトに吊します。

●市販のナット・ワッシャーで固定します。

(お願い)	●本体を取付ける場合、銘板に風方向が表示してありますので吸気側と排気側を間違えないように取付けてください。 ●振動防止のため、防振吊金具(システム部材)をご使用ください。

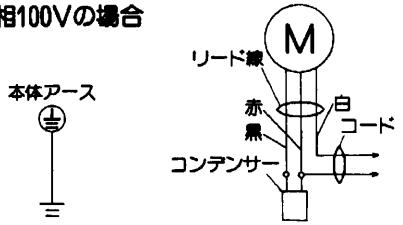
3. 電気工事を行います。

●本体から出ている電源コードと電源線とを接続します。単相100Vの製品と三相200Vの製品がありますので間違いがないか確認して接続してください。

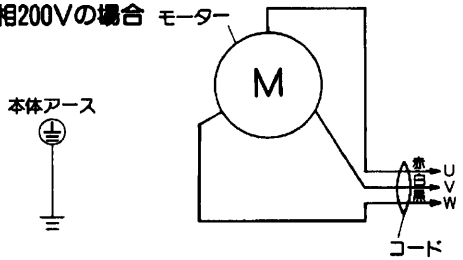
●電気設備技術基準により電気工事を行い、必ず接地工事(アース)を行ってください。

結線図

単相100Vの場合

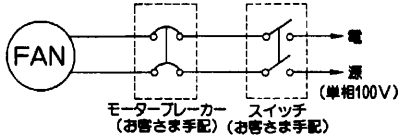


三相200Vの場合

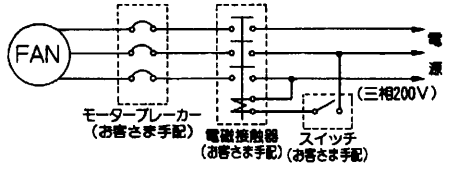


配線図

(単相100V)

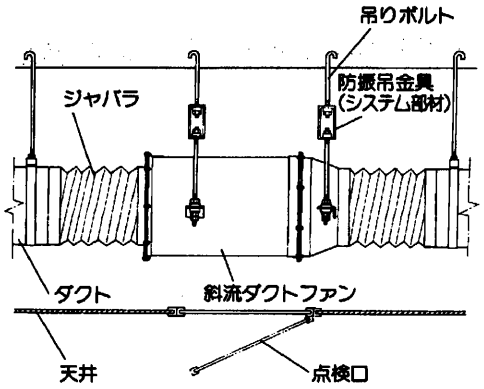


(三相200V)



(お願い)	●電線の接続部分はしっかり接続してください。 ●三相製品は特に配線工事を確実に行ってください。 (接続が悪いと欠相運転となり、モーター焼損の原因となります。) ●モーター焼損および、配線回路保護のため配線系統にモーターブレーカーなどの保護機器を使用してください。 (モーターブレーカー選定にあたっては仕様の欄7ページの最大負荷電流を参照し、誤動作防止上、最大負荷電流の1.2~1.5倍の余裕をみてください。) ●電磁接触器、スイッチの容量選定にあたっては最大負荷電流×接続台数を目安としてください。また、電磁接触器を操作するスイッチの場合のスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。 ●ダクト接続する前に必ず風方向を確認してください。 (電源接続を間違えますと逆回転します) 風方向が逆の場合は3本のうち2本を入換えてください。(三相製品)

3. 取付方法 つづき



4. ダクトを接続します。

●ダクトをダクト接続口にしっかり差込みリベットなどで固定し、風漏れのないようテーピングしてください。

●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊してください。

●振動及び芯ずれ防止のため、ジャバラをご使用ください。

4. 使用方法

市販のスイッチで「入・切」操作をします。

■羽根は試験によりバランスが保たれていますので、ていねいに取扱ってください。落したり当てたりしないでください。

■吸込側または吐出側にダクトを付けずに使用する場合は、指などが入らないように保護ガードを取付けてください。

⚠警告	⊘	●電源が入ったままになっていると自動的に復帰し、急に回転しますので点検、修理のときは必ず電源を切ってください。 （突然運転し始めてけがをする恐れがあります）

温度過昇防止装置について

モーターには温度の上がり過ぎを防止するため温度過昇防止装置を内蔵しています。温度過昇防止装置は、JFU-20ASDは温度ヒューズ、その他は自己復帰形サーマルプロテクターを使用しています。過負荷、欠相運転あるいは拘束運転などの異常時に下記のように作動しますので処置をしてください。

温度ヒューズ……ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。
処置：電源を切りモーター交換を専門の工事店へ依頼してください。

自己復帰形サーマルプロテクター…回転が一時的に遅くなって停止します。しばらくすると回転します。停止と回転を繰返します。
処置：電源を切り原因を取除いてモーターが冷えてから再運転してください。
それでも停止するときは電源を切り専門の工事店へ修理依頼してください。

5. アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（取付・取扱説明書同封の一覧表でお近くの支社、支店または各地区のサービスセンター）へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの三菱消音形斜流ダクトファンの補修用性能部品を製造打切後最低7年間まで保有しています。

6. 仕様

形　名	電　源 (V)	周波数 (Hz)	風　量 (㎥/h)	最大負荷電流 (A)	質量(重量) (kg)
JFU-20ASD	単相 100	50/60	580/675	0.63/0.61	11.0
JFU-25BSD	単相 100	50/60	1165/1375	0.85/1.0	17.5
JFU-25BTD	三相 200	50/60	1165/1375	0.53/0.45	17.0
JFU-30BSD	単相 100	50/60	1720/1830	1.3/1.6	27.5
JFU-30BTD	三相 200	50/60	1720/1830	0.42/0.46	27.5
JFU-30CSD	単相 100	50/60	1950/2260	2.0/2.4	27.5
JFU-30CTD	三相 200	50/60	1950/2260	0.53/0.69	27.5
JFU-35DSD	単相 100	50/60	2640/3120	1.9/2.9	31.0
JFU-35DTD	三相 200	50/60	2640/3120	0.8/1.0	29.5
JFU-35ESD	単相 100	50/60	3325/3930	3.4/5.1	36.0
JFU-35ETD	三相 200	50/60	3325/3930	1.9/1.9	38.5
JGU-40DSD	単相 100	50/60	3240/3780	2.6/3.5	41.0
JGU-40DTD	三相 200	50/60	3240/3780	1.1/1.2	41.0
JFU-40FSD-50	単相 100	50	4920	6.2	45.0
JFU-40FTD	三相 200	50/60	4920/5640	2.8/3.2	46.0
JGU-50FSD	単相 100	50/60	5760/6900	7.4/8.0	76.5
JGU-50FTD	三相 200	50/60	5760/6900	2.8/2.9	64.5
JFU-50GTD	三相 200	50/60	7000/8250	4.0/5.5	76.5

注）JFU-40FSD-50は50Hz専用です。（60Hzでは使用できません）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111